

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日比共同製錬株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号	
本票作成	部署名：環境安全課				
主たる業種	分類コード	23	業種名：非鉄金属製造業		
事業の概要	銅鉱石（主に輸入）⇒電気銅生産（29万t/年） 副産物：濃硫酸、石膏				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	玉野製錬所		岡山県玉野市日比6-1-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 1 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量		目標年度(令和5年度)	
	258,566 t CO <sub>2</sub>	312,978 t CO <sub>2</sub>		253,348 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和5)年度排出量	
	①	玉野製錬所		312,978 t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度～令和5年度(4箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	37.4 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 電気銅生産量：289,022t 硫酸石膏生産量：282,301t	原単位当たり排出量			
		基準年度	(5)年度	目標年度	
		0.876 t CO <sub>2</sub> /(t)	0.548 t CO <sub>2</sub> /(t)	0.865 t CO <sub>2</sub> /(t)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等	
<b>【削減状況の自己評価】</b>					
基準年度は非化石エネルギー起源のCO <sub>2</sub> 排出量を含まないため、下記のとおり層別して評価した。 ・非化石エネルギー起源のCO <sub>2</sub> 排出量(70,829 t CO <sub>2</sub> )は硫酸石膏生産に起因する。硫酸石膏生産量に基づいた原単位当たりの排出量(硫酸石膏生産量で除したもの)は、0.251 t CO <sub>2</sub> /t硫酸石膏となる。 ・一方、非化石エネルギー起源のCO <sub>2</sub> 排出量(70,829 t CO <sub>2</sub> )を除いた排出量(242,149 t CO <sub>2</sub> )は、電気銅生産に起因する。電気銅生産量に基づいた原単位当たりの排出量(電気銅生産量で除したもの)は、0.838 t CO <sub>2</sub> /t電気銅となる。基準年度に対して4.3%の削減率となり、目標削減率を達成。					

**【推進体制】**

- ・ CSR活動の一環として省エネルギー活動を推進
  1. 生産活動における更なるエネルギーの効率化を含む各工程の操業改善
  2. 先端設備の導入などの省エネルギー化
- ・ 中長期CO2排出量削減目標の改定（2022年3月）
- ・ インターナルカーボンプライシング制度（ICP制度）の導入（2023年3月）

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
熔錬工場、電錬工場	（令和5年度実施分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熔錬工場 転炉放風酸素の回収</li> <li>・ 照明LED化</li> </ul> （今後実施予定分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熔錬工場 転化器廃熱回収の検討</li> <li>・ 重油からLNGへの転換を検討</li> <li>・ 石油コークスからバイオコークスへの転換を検討</li> <li>・ 照明LED化（未実施エリアへの展開）</li> <li>・ CO2ガス回収の検討</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・ 非化石電気の割合 2030年度目標 59%
- ・ 太陽光発電導入の検討